

「幌延深地層研究計画 令和 6 年度調査研究成果」
札幌報告会 挨拶

令和 7 年 7 月 31 日
幌延深地層研究センター所長 佐藤 稔紀

- 幌延深地層研究センター所長を務めております佐藤と申します。
- 本日はお忙しい中、「幌延深地層研究計画 令和 6 年度調査研究成果 札幌報告会」に足をお運びいただきまして、誠にありがとうございます。
- まずは、常日頃より当機構の業務につきまして、ご支援・ご協力を賜り、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。
- 本日の令和 6 年度調査研究成果の説明では、今年 4 月の「令和 7 年度調査研究計画」の説明会におきましても、その概要についてご説明いたしましたが、今般、成果報告書に取りまとめましたので、本日は、改めて、昨年度の成果についてご説明させていただきます。
- なお、令和 6 年度も着実に成果をあげ、計画どおりに調査研究が実施できております。これも、ひとえに幌延町などの地域の皆様をはじめとした北海道民の皆さまのご理解・ご支援の賜物と深く感謝いたしております。
- 掘削工事につきましては、5 月に西立坑が深度 500m に到達し、東立坑及び換気立坑に続いて 3 本の立坑すべて深度 500m に到達いたしました。また、500m 調査坑道の掘削についても、6 月末に東連絡坑道と西立坑をつなぐ西連絡坑道も貫通いたしました。本年中には、500m 調査坑道の整備が完了する予定でございます。引き続き、安全を第一に情報公開を徹底し、着実に研究開発を進めていきますので、引き続き、ご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。
- 私どもが研究開発を進める上では、幌延町および北海道との間で取り交わした三者協定が大前提ですので、「放射性廃棄物を持ち込まない」、「最終処分場にはしない」、「研究が終わったら地下の施設は埋め戻す」といった約束をしっかりと守りながら、最大限の成果が得られるように進めていきたいと考えております。
- 最後になりますが、本年 10 月に機構設立 20 周年を迎えます。引き続き、皆様のご理解・ご支援を賜りたく、宜しくお願い申し上げます。
- それでは、令和 6 年度の調査研究成果について説明をさせていただきますので、忌憚のないご意見等いただければと思います。